

# 「フリーWi-Fi」の危険性

いじめ防止対策等推進事業（京都府教育委員会）

インターネット機器を無線（ワイヤレス）でインターネットに接続する技術のことをWi-Fi（ワイファイ）といいます。最近では、無料でこのWi-Fiを利用することができる「フリーWi-Fi」というサービスが提供されている場所が増えてきました。

ノートパソコンやスマートフォン、タブレット、携帯ゲーム機などのインターネット機器さえあれば、外出先でも気軽にインターネットを使えるためとても便利ですが、「フリーWi-Fi」の利用には危険性もひそんでいます。

今回は、そんな「フリーWi-Fi」のことをお話したいと思います。

## 「フリーWi-Fi」の使い方

「フリーWi-Fi」は駅や空港をはじめ、コンビニやカフェ、レストラン、病院、商業施設など、街中のいたるところで提供されています。このような「フリーWi-Fi」が提供されているスポットで、インターネット機器のWi-Fi機能をオンにします。すると、接続可能なWi-Fiサービスが自動的に検索されるため、そのサービスに接続すればインターネットを利用できるという仕組みです。



- ※ 「フリーWi-Fi」の中には、SNSアカウントと連携したり、自分のメールアドレスを登録したり、店内でパスワードを教えてもらってログインするものもあります。

## 「フリーWi-Fi」を利用することによる危険性

「フリーWi-Fi」にはセキュリティの甘いものも多くあり、利用することで以下のような被害を受けってしまう可能性もあります。

- ・ 閲覧したサイトの履歴やメールの内容、サービス利用時に入力したパスワードなどの通信内容を盗み見られる
- ・ 不正アクセスやウイルス感染の被害にあって、インターネット機器を勝手に操作され、保存している連絡先や個人情報、写真や動画などをコピーされ悪用される

### <危険性を減らすための対策>

- ・ 提供元が不明な「フリーWi-Fi」は絶対に使わない
- ・ インターネット機器には必ずセキュリティ対策をしておく
- ・ 「フリーWi-Fi」を利用する際は、個人情報の入力が必要なページ・アプリは使わない
- ・ Wi-Fiを使わないときは、インターネット機器のWi-Fi機能をオフにしておく（知らないあいだに提供元が不明の「フリーWi-Fi」に接続してしまうことを防ぐため）



「フリーWi-Fi」を利用することによる危険性を子どもたちに理解させ、使用する際はセキュリティ対策が必要であることを指導していくことが大切です。